



GE、戦略的な変革を加速

欧州委員会と米国司法省、GE 過去最大の産業分野における買収完了に向け承認

*本報道資料はベルギー・ブリュッセルにて 9 月 8 日（火）に配信された内容を抄訳したものです。

【ベルギー・ブリュッセル 2015 年 9 月 8 日】 GE は本日、欧州委員会がアルストムの発電・送配電事業の買収を認可し、米国司法省も買収を完了させることを認可する同意判決を提出したことをお知らせします。これらの承認は GE が第 4 四半期の早期にこの買収を完了させることにつながるものです。

GE の会長兼 CEO ジェフ・イメルトは以下のように述べています。「欧州委員会と米国司法省の本日の決定は第 4 四半期の早期にこの案件を完了させるための大きなマイルストーンです。」「私たち GE は欧州委員会と米国司法省の市場競争に対する懸念を払拭する一方、この買収の戦略性・経済合理性は維持することができました。アルストムとの技術面や設置機器の地域面での相互補完性は、お客様により多くの価値を、また GE のお客様により多くのリターンをもたらすことができるでしょう。」

欧州委員会の承認は、承認取得に関連して、GE とアルストムが提示した条件を満たすことが前提となっています。特に規制当局の承認を条件として、GE は発電プラント・機器の主要企業であるアンサルドエネルジアに、以下のアルストムの大型ガスタービン事業の一部を売却します。

- ◆ アルストム GT26(F クラスガスタービン)製品の新規販売
- ◆ 開発完了後に H クラスガスタービンとなるアルストム GT36 技術開発プログラム
- ◆ GT26 の 34 基のサービス契約。インストールされている残りのおよそ 720 基のアルストム・ガスタービンは GE に残ります。
- ◆ 加えて、米国司法省と欧州委員会によって挙げられた GE ガスタービンのサービスにおける市場競争状況に関する懸念を払拭するために、GE はアルストムのパワーシステムマニファクチャリング(PSM)事業を売却することとなります。PSM 事業は他の OEM のアフターマーケット向けの部品サービスを提供しています。GE は、GE 以外の OEM のガスタービンのためのアフターマーケットサービスに関する PSM 事業の IP ライセンス使用料を受けとります。

GE はアンサルドエネルジアにこうした資産の売却を完了しようとしています。この案件は、規制当局の承認を条件として、GE/アルストムの案件完了直後に完了することとなります。

GE は 2014 年 4 月、アルストムの発電・送配電事業を 123 億 5,000 万ユーロで買収することに合意しました。その後 2014 年 6 月には合併会社(再生可能・送配電・原子力)に買収ストラクチャーを変更し、改善措置のために買収価格および買収完了時のネットキャッシュを調整し、買収額をおよそ 85 億ユーロ（約 95 億ドル）としました。GE に対する財務上プラスのインパクトに変わりはありません。GE はこの案件から 2016 年に 1 株あたり 0.05 ドルから 0.08 ドルの利益を予想し、2018 年までには 1 株あたり 0.15 ドルから 0.2 ドルの利益を予想しています。GE

は 5 年後には 30 億ドルのコストシナジーを目指し、買収に基づく、より多くのリターンを見込んでいます。この買収ストラクチャーの調整を含め、案件全体の経済性・戦略性においては、2014 年 4 月時から変更はありません。

戦略的にはアルストムと GE の発電・送配電技術と地理上の特性を合わせることで多くの新しいビジネス機会を提供し、お客様に多くの価値を生み出すことができると考えています。

- ・GE の現在のインストールベースを 50%増やす、発電容量約 1,500 ギガワットのインストールベース
- ・再生可能エネルギーにおける、業界で最も幅広い製品ポートフォリオ
- ・火力発電施設全体の設計能力の向上
- ・グローバルで競争力のある実績とスケールを有する幅広い送配電製品・サービスのポートフォリオ
- ・強化・拡大される発電プロジェクトにおける専門性とファイナンス能力
- ・インストールベースの性能向上のためのビッグデータ・解析・分析能力
- ・他の OEM サービスと競争するための新たな能力
- ・150 か国以上の発電関連のカスタマーに対するローカルリソースとグローバルリーチ
- ・共有する専門性と技術 (GE Store) によってさらなる成長を促進

アルストムアライアンスは GE の変革における重要な一歩です。GE は GE キャピタルの売却を予定よりも早期に実行しています。以前お知らせしたように Synchrony の株式上場は今年中に実行されるでしょう。緩慢な成長が続き、流動的な環境において、各チームは順調に実行しています。第 2 四半期の決算発表において、GE は 1 株あたりの産業分野における通年の営業利益を 1.13-1.20 ドルとしましたが、この目標も予定どおりです。

ジェフ・イメルトは以下のように述べています。「過去 15 か月にわたってアルストムのテクノロジーと能力を学ばば学ぶほど、ますますこの案件への関心が高まりました。GE にとって、正しいときに、正しい案件となりました。」

「合衆国を含め、グローバルの規制環境を導くことは、これまで以上にチャレンジですがこの規制当局のプロセスを通じて、欧州委員会や米国司法省、世界のその他の規制当局と建設的に協議をおこなうことができました。様々な省庁との協力を得て、今回の買収スキームのレビューが可能となったことを喜ばしく思い、完了に向け、必要かつ重要な手続きをおこなってまいります。」

GE について

GE は創造力あふれる方法で世界をより良くする企業です。GE はハードウェアとソフトウェアを融合することで、お客様とともに電力供給や運輸、インフラ構築や医療、金融に関わるソリューションを提供し、こうした産業に新たな時代を生み出します。日本における GE の活動については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧ください。

「将来予想に関する記述」について

この文書には「将来予想に関する記述」、すなわち過去の出来事ではなく、将来に関する記述が含まれています。「将来予想に関する記述」では、予想される将来の業績、財務成績、財政状況にしばしば言及し、「期待する」、「予想する」、「つもりである」、「計画する」、「信じる」、「探し求める」、「見込む」、「～であろう」、「～だろう」、「～を

目指している」といった言葉を含むことがよくあります。将来予測に関する記述は、キャッシュ、ノンキャッシュを含め今回の計画に伴う負担金を含むファイナンシャル・ビジネスのサイズを縮小させる計画、収益予想、1株当たりの収益、売上、内部売上成長率、利益率、コスト構造、再編費用、キャッシュフロー、資本回収率、資本分配または資本構造、配当、インダストリアル部門と GE キャピタルの利益配分など、様々なレベルで不確定な事項を含んでいます。GE の実際の業績は、「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。その原因となり得る不確実性には、今回のファイナンシャルサービスビジネスのサイズを縮小する計画に伴う必要とされる監督官庁のレビューや承認またはその他の承認事項、適時にこの計画の一部として追加的な資産の売却を完了するための能力およびその時点の価額、法律の変更、金利や為替レートの変動および商品価格・株価・金融資産価値を含む現在の経済・金融状況などがあり、当社の売却能力に影響を及ぼす状況、及びファイナンシャルサービスビジネスのサイズを縮小する計画の一部として売却される追加的な資産価値も含まれます。また、GE キャピタル・コーポレーション (GECC) の資金調達の可能性やそれに伴う費用、取引先に対する GECC のリスク、当社の能力に影響を及ぼす、経済・金融市場の状況などが考えられます。また、法人金融・個人向け金融が債務不履行 (デフォルト) になるリスク・レベルに影響を与え得る、住宅市場の状況および失業率の推移、当社の損失可能性見積もりを含む債務予想に影響を及ぼし得る WMC のモーゲージローンの再購入に関する係争中または将来的な請求・訴訟、当社が現在の信用格付けを保持できる能力、および当社が信用格付けを保持できなかった場合に生じ得る、当社の資金調達費用や競争力への影響、四半期配当を計画どおりに実施する、もしくは自社株買いを計画どおりに実行する当社の能力に影響を及ぼし得る当社のキャッシュフローや利益および金融サービス規制や監督その他の要因、内定受注 (コミットメント) / 落札の成約率、定価での内定受注/落札後の実際の受注価格、当社の客先である主要産業からの需要およびこれらの顧客企業の経営状況に影響を及ぼす可能性がある航空機の早期廃棄やエネルギー需要の低下などの顧客の動向や展開、GE のリスク管理フレームワークの効果、法律および規制・捜査・法的手続・法令遵守リスクの影響 (金融関連法令の影響を含む、Synchrony のスプリットオフを予定どおり行うことができないような市場環境の悪化、必要な銀行規制承認を取得する時期や能力、その他 GE や Synchrony Financial に関連する要因、自社株買い戻しや買収・合併事業・売却などの戦略的行為の時期や規模などに変更を生じさせ、影響を及ぼす可能性のある、当社の資本配分計画、Alstom との取引や提携、アプライアンス事業、金融事業における規模の縮小の計画など発表済みの案件にともなう監督官庁の許認可を含む、案件完了とそれによって予想している利益とコスト削減効果を実現する能力、買収した事業の統合や合併事業の成功、情報技術またはデータセキュリティ侵害が発生した場合の影響、2014 年 12 月 31 日終了年度の Form 10-K 年次報告書で「リスク要因」として記載したその他の要因が含まれます。GE は「将来予想に関する記述」を更新する義務は負いません。

この文書には、現在の推定、予測に基づく見積財務情報が含まれています。よって、結果は、実質的には異なる可能性があります。

GE の投資家向けウェブサイト www.ge.com/investor、コーポレート・ブログ www.gereports.com、当社の Facebook ページおよび Twitter アカウント (@GE_Reports を含む) には GE に関する情報のほか、財務や投資家の皆さま向けの情報が多数掲載されています。これらのウェブサイトにおいて、情報の更新および新たな情報掲載がなされるため、投資家の皆様には随時ウェブサイトをご覧くださいことを推奨いたします。